



午年から始める 強力ご利益参拝法

十二年分のご利益を得る 伝統的な「三年参り」

大杉神社には伝統的に「三年参り」という参拝方法があり、多くの人が社殿内で祈禱を受けています。
一〇ページでも触れた通りその人に合ったご祈禱の時期はありますが、なかでも午年は精気溢れる年とされ、この午年から未年、申年の三年間を続けて参拝、祈禱をすることで十二年分のご利益が得られるとされることから午年には多くの方々が祈禱に訪れます。

大杉神社境内にある 午を祀る「勝馬神社」

大杉神社境内には馬を祀る勝馬神社があります。毎年四月八日は大杉神社の春の大祭「駒牽祭（こまひきさい）」が行われます。本来は駿馬が馬子にとまわれ拜殿前の境内を一周、人馬共々一礼したあと本殿裏手の馬場（競馬場）へと向かいました。馬場を見下ろす場所に馬籠社（はれきしや）と呼ばれる駿馬を守護する神社があり、これが現在の勝馬神社となりました。

もとはもう少し小さな建物で馬を牽く猿の絵や猿の顔が描かれた絵馬が掛けられていました。現在も勝馬神社の本殿前の御神馬舎には御神馬を牽く猿の石像が祀られており、午と猿とのかかわりが深いことを連想させてくれます。

馬は太陽が照り輝く刻 火の性質を帯びている

午（馬）は最も太陽が照り輝く刻（とき）を表し、火の性質を帯びていると考えられてきました。しかしその勢いが強すぎると思わぬ禍に転じてしまうこともあるので、この火の勢

いを少しコントロールするために申（さる）がこれを牽いて火（午・馬）をコントロールしようとしています。その猿（申）が馬（午）を牽く駒牽の全体を見守るのが駒牽祭を主宰する大杉大神（あんばさま・安馬さま）で、未年を当たり年としてお祭りが行われます。

神社境内に馬、羊、猿に まつわる神様が集合

神護景雲元年丁未（ほのとひつじ）の年に鎮座した大杉神社は令和九年に一二六〇年祭を迎えます。六〇年に一度の大祭が行われることとなっておりますが、神社境内に馬（午）、羊（未）、猿（申）にまつわる神様が集合していることが午・未・申の三年間をお参りするの良いとされる理由です。

大杉神社境内には 十二支全ての彫刻がある

ここで少しだけ、なぜ申（猿）が火の性質を持つ午（馬）をコントロールできるのかを説明したいと思えます。一〇ページでもご紹介いたしましたが申は旧暦七月を表し水の三合の起点となることから水の気が起こったばかりの状態に相当し、火の勢いを消すことなく火の勢いをコントロールできると考え、暴れる馬（猛威を振るう火）を調教（コントロール）できるものが猿（申）であるとされてきました。

日光東照宮の「見ざる聞かざる言はざる」の三猿の彫刻が有名な建物は御神馬のいる厩舎です。実はこの厩舎には三猿以外にもたくさんの方の馬の彫刻が施されています。

大杉神社の境内にも何処かに猿だけでなく十二支全ての彫刻がみられる場所があります。ぜひ探してみましよう。

立神守に 特別なパワーを いただこう！

令和八年（二〇二六）年は午年の中でも最も勢いのあると言われる丙午（ひのえうま）にあたります。丙午は六〇年に一度めぐってくる年ですので、前回は昭和四十一（一九六八）年にあたります。

を麒麟閣大玄関松の間に展示公開いたします。
松の間の前に設置された広縁に立神守専用の御守立を設置予定です。授与所で「立神守（たてがみまもり）」を受け、にんじん奉納と書かれた祝儀袋をいただき、この中にお賽銭を納めます。



参拝の前に受けるべき御守 6選

1位 御種銭 (おたねせん)

金運を願う方。参拝時に大杉神社（銀色の小判）大国神社（金色の小判）を賽銭箱の縁に置き参拝後財布に金銀を併せておく。



4位 土器<厄除・悪縁切・疫病退散> (かわらけ)

土器は3種類。厄除の土器は社殿正面右側、悪縁切の土器は左側、疫病退散の土器は左奥でそれぞれ割ります。※桃の石には当てないこと。



2位 立神守 (たてがみまもり)

麒麟閣松の間に置かれた御神馬の鞍の前に設置された御守立に立神守を立てかけ「事無く送られよ、選びあげられよ」と唱えたら立神守を持帰ります。



5位 禹歩守 (うほまもり)

境内の禹歩齋場（うほのゆにわ）で四股（しこ）を踏むように歩みを進める時に右手で持ってそれを健康・強運の御守とする。



3位 御賽幣 (おさいへい)

お賽銭の代わりに幣帛と呼ばれる捧げものをします。錦の賽幣（10,000円）帛の賽幣（5,000円）麻布の賽幣（1,000円）の3種類。



6位 気守 (きまもり)

境内の石製基盤（ごばん）に気守の基石を基盤の目に置き右足で基石を踏み、基盤から飛び降りた後に御守袋に納め健脚・健康の御守とする。



大杉神社境内MAP



大杉神社では令和9年にご鎮座1260年を迎えることから60年に一度の奉祝大祭を開催いたします。それを記念して・・・

御神馬にのせられた御鞍を 麒麟閣大玄関松の間に展示公開予定!

松の間の前に設置された広縁に立神守専用の御守立を設置予定

<開催期間>令和8年1月8日(金) から2月1日(月)

